対象：小学生（下学年）の保護者

こんな時、子どもに何と言う？

子どもが何か頼みごとをしてきた時､｢それはだめ!｣と返していることはありませんか。
いつも否定の返事しか返ってこないと、そこから親子げんかになったり､｢どうせ言ってもだめだから…｣としだいに相談をしなくなったりするかもしれません。
こちらがちょっと言い方を換えるだけで、子どもが「うん、わかった」と納得できる魔法の言葉かけを考えてみましょう。

１．次のような時、あなたは子どもに「いいよ」と言うと思うものには〇、「だめよ」と言うと思うものには×、どちらか迷うものには△をつけましょう。

①　（　　）　食事前に、「お菓子を食べてもいい？」

②　（　　）　「〇〇ちゃんの家に泊まりに行ってもいい？」

③　（　　）　「みんなが持っているゲームソフト、ぼくも買って!」

④　（　　）　食事の時間に「後少しでゲームが終わるから、もうちょっとだけいい？」

⑤　（　　）　「今度のテストで１００点をとったら、ゲームソフト買ってくれる？」

２．子どもが納得するような肯定的な言葉かけ「～ならいいよ」や、提案する「～はどう？」の言葉かけを考えてみましょう。

①　食事前に、「お菓子を食べてもいい？」
⇒　例）「一つだけならいいよ。」、「ご飯を食べた後に、まだ食べられそうなら食べる？」

②　「今度のテストで１００点をとったら、ゲームソフト買ってくれる？」
⇒　「　　」

③　「友達が新しいゲームを見たいって言うから、明日学校へ持って行ってもいい？」
⇒　「　　」

☆ こんな時、みんなはなんて言うか聞いてみよう!　(返事に困る子どもからの頼みごと)
子ども「　　」
⇒　親「　　」